

2. 20年超二世帯住宅の居住者調査(2002)

何が良くて、何が不満なのか

満足度は概して高い(「20年間二世帯同居に満足」は親世帯9割、子世帯8割)

よかったこと

不満は親 < 子世帯、分離度高いほど少

不満なこと

安心

自分や家族の急病の時など心強い
安心して旅行や外出ができる

自由

自分ひとりの時間が持ちにくい
外出やレジャーを自由に楽しみにくい

学習

伝統的(新しい)な文化や習慣、生活
の知恵を吸収できる
冠婚葬祭などの対応がわかる

干渉

日常的に気遣いが増える
世帯間のプライバシーを確保できない
生活の干渉を受けやすい

子供

子供の世話をしてもらえる
子供の精神的な成長に役立つ

つきあい

親戚や近所付き合いが多くなる
友人、親戚との交流に気を使う
相手世帯の来客に気を使う

サポート

家事に協力してもらえる
自分が仕事を続ける上で不安がない

不一致

家事のやり方が合わない
食事の好みなどが違う

経済

家計を助け合え、生活が楽になる
快適な住まいや環境が得られる

負担

親世帯の世話で負担が重くなる
家事の負担が重くなる

関係

家族的な雰囲気や団欒を楽しめる

関係

夫(妻)と親との板挟みになる
生活全般に関する価値観が違う
生活時間やリズムが違う

太枠は現在の子世帯でグループ内に複数回答で3割を超える項目があるもの

20年前(入居時)の時と比べて満足/不満の変化

安心、サポートメリットは親子で逆転
(= 高齢の親が子を頼るように)

干渉、関係不満は入居時より減る
(= 慣れる、うまくこなせる)